

(11) Publication number: Japanese Examined Utility Model Application, Second

Publication No. Hei 01-31063

(54) Title: HANDLE FOR BAG

(72) Inventor: TANAKA, Takashi

#### ABSTRACT

**PURPOSE:** To provide a handle for a bag which prevents a handle shaft from coming out.

**CONSTITUTION:** A handle for a bag includes a handle body 1, a fixing element 2, reinforcing frames 5, and handle shafts 3. The fixing element 2 has two concave portions 2a into which ends of the handle body 1 are fitted. The reinforcing frames 5, each of which has an elastic fixing finger 7, are fitted on the outside surface of each of the concave portions 2a. The handle shaft 3 is reliably prevented from coming out by the elastic fixing finger 7.

## ⑫ 実用新案公報(Y2)

平1-31063

⑬ Int. Cl. 4

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公告 平成1年(1989)9月22日

A 45 C 13/26

C-8508-3B

(全2頁)

⑮ 考案の名称 かばん用下げ手

⑯ 実 願 昭61-21575

⑰ 公 開 昭62-134418

⑱ 出 願 昭61(1986)2月19日

⑲ 昭62(1987)8月24日

⑳ 考 案 者 田 中 隆 東京都北区西ヶ原1丁目51番6号

㉑ 出 願 人 株式会社日乃本錠前 東京都北区西ヶ原1丁目19番19号

㉒ 代 理 人 弁理士 中川 邦雄

㉓ 審 査 官 黒 瀬 雅 一

1

## ㉔ 実用新案登録請求の範囲

下げ手本体を固定するための固定部材と、該固定部材を固着し、かばん直接取付ける金属製の補強枠とから構成され、固定部材は合成樹脂により中空で同一肉厚に形成して下げ手本体の両端部が嵌まる凹形部を設け、凹形部には下げ手本体の両端部の貫通孔と共に軸杆が貫通する一対の孔を開設すると共に、凹形部の外面に嵌まる前記補強枠にも凹形部の孔と合致する軸杆挿通用の一対の孔を穿ち、かつ外側に位置する孔より2条の切込を平行に形成することにより両切込間に軸杆に係止する固定弾片を設けたかばん用下げ手。

## 考案の詳細な説明

## 〔従来の技術〕

従来のかばん用下げ手は第4図に示すような構造であつて、固定部材aを直接かばんに固定するようになつてゐる。この固定部材aは金属製で軸杆bを固定部材aの一端から下げ手本体cに挿してその先を固定部材aに圧入して固定している。

## 〔考案が解決しようとする問題点〕

しかし乍ら上記のものは固定部材aの穴dと軸杆bの精度を必要とする。即ち、軸杆bが太いと穴dに圧入できず、細ければ抜けるおそれがあり製作上手数を要し、原価高となる。

## 〔問題点を解決するための手段〕

本考案の目的は前記従来の問題点を解決し軸杆の脱落を防止すると共に固定部材の変形もなく安価で確実にかばんに固着できる下げ手を提供することにある。

2

そのため本考案は固定部材を直接かばんに固定する構造を改め、該固定部材を合成樹脂により同一肉厚に、しかも中空に形成して、かばんに固定する金属製の補強枠で前記固定部材を軸杆と共に固着し、補強枠に形成した弾片で軸杆に係止させるようにしたものである。

## 〔実施例〕

第1図乃至第3図は本考案に係るかばん用下げ手の具体例を示したもので、図中1は下げ手本体、2は合成樹脂製の固定部材で下げ手本体1の両端部1aが嵌まる凹形部2aを形成し、全体を同一肉厚で中空状に形成してある。凹形部2aには下げ手本体1の両端部1aに設けた貫通孔1bと共に軸杆3がそれぞれ挿通する孔4a、4bを開設し、また凹形部2aの外面に嵌め込む金属製の補強枠5を備え、(第3図参照)この補強枠5はかばんに直接固定し、かつ前記孔4a、4bと合致する孔5a、5bを設けてある。そして外側に位置する孔5bには下方に向つて一対の垂直の切込6a、6bを平行に施すことにより両切込6a、6b間に軸杆固定弾片7を派生してある。従つて第2図に示すように、固定部材2の凹形部2aを囲む内周面8に形成した挿通孔9から挿込んだ軸杆3が補強枠5の孔5a、凹形部の孔4a、下げ手本体の両端部1aの挿通孔1b及び凹形部2aの孔4bより補強枠5の孔5bを貫通した際固定弾片7が外側に少々変形して係止し、軸杆3が抜け出るのを阻止してある。

## 〔考案の効果〕

3

4

本考案によれば固定部材は合成樹脂により中空でしかも同一肉厚に成形してあるため、製作時の変形がなく体裁良く形成できる。そしてこの固定部材は金属製の補強棒を介してかばんに固定し、軸杆は補強棒の固定弾片によつて確実に固着され脱落するおそれはない。

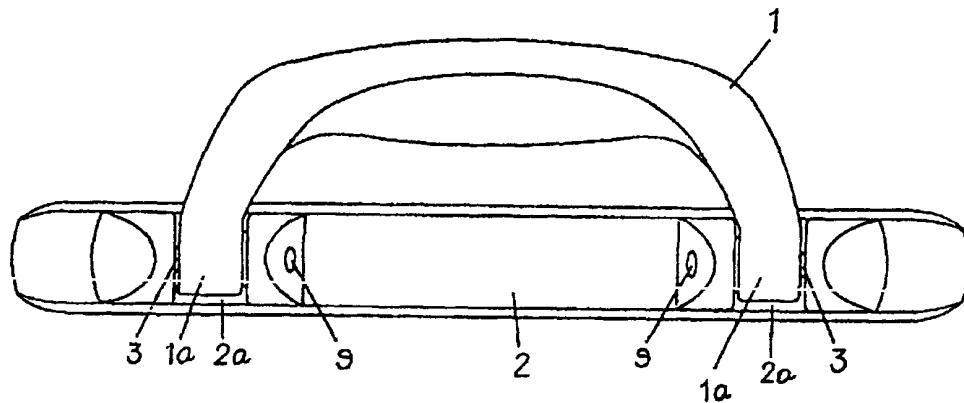
#### 図面の簡単な説明

第1図は本考案に係るかばん用下げ手の一実施

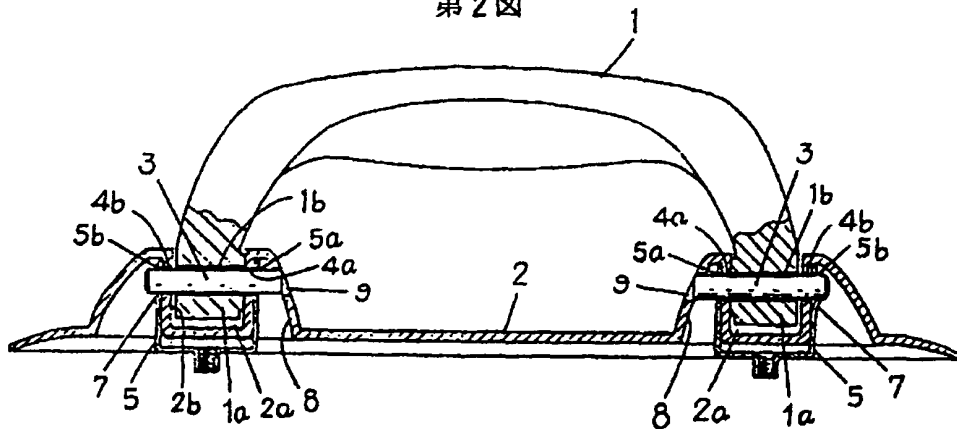
例を示す平面図、第2図は縦断面図、第3図は本考案の下げ手に用いる補強棒の斜視図、第4図は従来の下げ手の一部の断面図である。

1……下げ手本体、1a……両端部、1b……貫通孔、2……固定部材、2a……凹形部、3……軸杆、4a、4b……孔、5……補強棒、5a、5b……孔、6a、6b……切込、7……固定弾片。

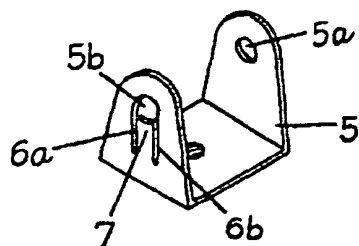
第1図



第2図



第3図



第4図 C

